

三宅町交流まちづくりセンター (Mi i Mo)

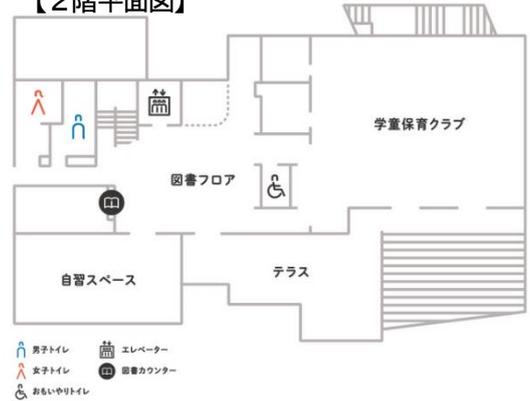
(施設概要)

- オープン プレオープン：令和3年（2021年）7月
グランドオープン：令和3年（2021年）12月予定
- 機能 ・集会施設、コワーキング施設、図書室、学童保育、食堂施設、フリースペース
- 特徴 上記の多様な施設の複合で構成されている新しい形式の施設
- 施設 **Mi i Mo キッチン、Mi i Mo ホール、まちキッチン、Mi i Mo 食堂、学童保育（令和4年開設予定）、図書フロア、コミュニティルーム、子育て世代包括支援センター（令和4年開始予定）、コワーキングカフェ、Mi i Mo 広場（令和3年12月供用開始予定）、子どもスカイガーデン（令和4年供用開始予定）**
- 場所 奈良県磯城郡三宅町大字伴堂
- 開館 午前9時～午後9時
休館日 毎週月曜日、年末年始

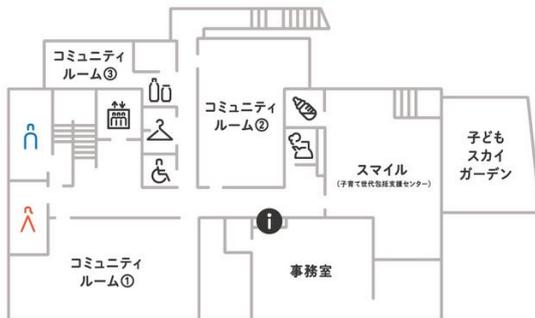
【1階平面図】



【2階平面図】



【3階平面図】



子どもたちが
まちのみんなが
もっと三宅を好きになる



聞きたいこと 三宅町交流まちづくりセンター (Mi iMo)

- 複合施設のメリット、デメリットは。
- コンセプトを立てる際の住民参画の仕組みはどのようなものですか
- 運営に当たって住民参画や協働の仕組みはどのようなものですか。
- 運営に当たって一番力を入れている点は何ですか。
- 子育て層や若者をターゲットにした施設ですが、特に重視した点は何ですか。
- 飲食ブースに力が入られているようですが、特にこだわる点は何ですか。
- コワーキング施設で起業等のサポートをする仕組みはどのようなものですか。
- 既存の各種団体だけでなく、新たな団体の利用を期待するところですが、従前からの仕組みで大きく変更された点は何ですか。
- 講座や事業への集客方法の工夫として、どのようなものがありますか。
- 社会的弱者に対する配慮や取組として、どのようなものがありますか。